

【資料②：日韓学生フォーラム講演資料】

日韓学生フォーラム
한일 학생 포럼

韓国と日本の過去克服と和解のために

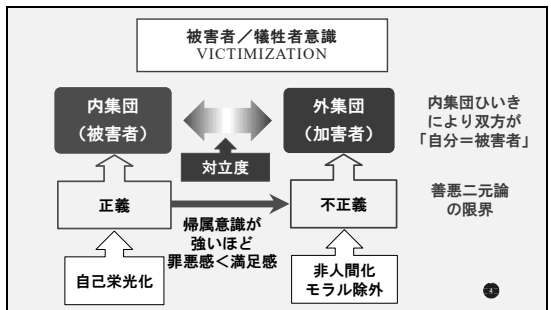
MORIYAMA, Shin (森山 新)
Ochanomizu University (お茶の水女子大学)

1

対立から和解へ

- ・ 対立：Conflict
- ・ 和解：Conflict Settlement / Conflict Resolution / Conciliation
- ・ 加害者：謙虚さ一反省・謝罪 集合的犯罪意識 (Collective Guilt)
- ・ 被害者：寛大さ一許し 集合的被害者意識

2



解決困難な集団間対立

集団間の対立が Identityの対立となると解決困難になる
→政治的手法(交渉)では解決できず、心理的手法(対話)が必要

敵対的/Zero-sum的 Identity

- ・ 自身のIdentityの維持には相手のIdentityを否定する必要
- ・ 相手の成功/達成=自集団の脅威
- 例) イスラエルvsパレスチナ、日vs韓も

→これらは和解にとって大きな壁となる

Brewer(2011)Identity and Conflict. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*

4

解決困難な対立を克服する

克服困難なコンフリクトをどう克服したらいいか
→Identityの変容が必要 (Identityの複合性)

- ① 包括的 Identity
- ② Dual Identity

→Ingroup favoritismの克服につながる

Bar-Tal, D. (2011). *Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*. Psychology Press.

5

日韓の和解のために

- ・ 外的(政治・経済)・内的(社会・心理)リソースを総動員する必要
- ・ 両者が共同で問題を解決しようとする努力が必要
- ・ 共有できる価値観・ゴールを構築→協力的スキーマが活性化
- 例) 2002W杯共催
- ・ 相互の利害の対立克服には、相互尊重 (mutual respect) と相手の立場尊重 (perspective taking) が重要→パートナーシップ
- ・ 2段階での対応

Janusz Reykowski and Aleksandra Cislak (2011). Socio-psychological Approaches to Conflict Resolution. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*, 241-266.

6

日韓和解への道
REYKOWSKI ET AL. (2011)

Janusz Reykowski and Aleksandra Cislak (2011). Socio-psychological Approaches to Conflict Resolution. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*, 241-266.

7